

新潟市民病院 母乳育児指針

1. 「母乳育児成功のための10カ条」に基づき、ケアをします

2. 妊娠中にプレママの会、両親学級、個別で相談・支援を行います

- ・母乳の利点と母子同室の意義を説明し、理解を得ます
- ・妊婦に妊娠中の乳房ケアの必要性、及び方法を説明します
- ・妊婦の乳頭確認、乳頭ケアを行います
- ・妊娠中に家族の協力が得られるように説明します



3. 分娩

- ・出産前にどのようなお産をしたいか、バースプランについて話し合います
- ・出産が行われる環境は母子の心身の安全を確保し、母子にとって快適であるよう配慮します
- ・医療介入が必要となる場合には、ていねいに説明します

4. 出生直後に早期母子接触(母と子の触れ合い)を行います

- ・経膈分娩では、分娩台上で早期母子接触を行い、早期に授乳ができるようにします
- ・帝王切開では、手術室で早期母子接触を行い、帰室後、早期に授乳できるようにします

5. 入院中

- ・母子同室で、母子ができる限り一緒に過ごせる環境を作り、赤ちゃんが欲しがる時はいつでも授乳ができるようにお手伝いします
- ・乳房ケアを実施します
- ・母乳を飲ませることができない場合でも、お母さんと赤ちゃんの触れ合いを大切にします
- ・赤ちゃんを離れているお母さんの母乳分泌を助け、維持できるよう方法を説明し、お手伝いします
- ・お母さんの希望をふまえ、退院後の母乳育児の方法を検討します

6. 退院後

- ・すべてのお母さんの2週間健診時に母乳育児について相談を行います
- ・授乳外来、育児外来等について紹介し、母乳育児のお手伝いをします
- ・入院中から退院後まで、お母さんの精神的・社会的支援、エモーショナルサポートを行います

7. 赤ちゃん

- ・赤ちゃんの脱水、黄疸に十分注意し、必要でない限り、母乳以外の水分を与えないようにします
- ・母乳で育てている赤ちゃんに、不必要なゴムの乳首やおしゃぶりを与えません

8. 教育

- ・母乳育児に関する職員教育を行います
- ・WHOコードを遵守するよう職員を啓発します

9. 連携

- ・薬剤師は、妊娠中から授乳中の薬物療法に関する適切な情報を提供し、安心して母乳育児が続けられるようにお手伝いします
- ・管理栄養士による妊娠中から授乳中の栄養相談を行います
- ・保健所や市町村を通して地域とネットワークを結び、育児サービスの窓口紹介や家庭訪問など、母子が地域に戻っても安心して母乳育児が続けられるようにお手伝いします